



認定こども園 若草幼稚園・若草ベビールーム

山形県私立幼稚園・認定こども園

教職員研修大会より～

こんにちは。若草幼稚園・若草ベビールームです。10月に予定していました「なかよしうさぎの秋祭り」は、感染拡大予防のため中止とさせていただきます。楽しみにお待ちいただきました皆様申し訳ありませんでした。幼稚園の園庭は銀杏と楓がきれいに色づき、窓からの眺めに秋を感じます。皆様元気にお過ごしですか？

10月には、「山形県私立幼稚園・認定こども園教職員研修大会酒田大会」が行われ、県内各地から、先生方が酒田地区に集まり、本園も公開保育・研究発表を行いました。本園のテーマ「主体的な遊びを育む環境構成とは～園庭の見直しから遊びの深まりを考える～」をもとに研究してきました。本園を訪れるたくさんの人は「園庭がすばらしい！」「自然環境にめぐまれている」そんな感想を言ってくださる方が多いです。私たち職員も起伏に富んだ自然豊かな園庭は本園の魅力と自負しておりますが、果たしてこの恵まれた環境を保育に生かしきれているだろうか、子ども達が自ら環境に関ろうとする姿をしっかりと読み取れているだろうか、そんな思いからこの研究が始まりました。

長年本園にお越しいただいている、群馬大学名誉教授の松永あけみ先生とともに、研究を進めてきました。「主体的な遊び」については、継続のテーマでもあり、これまでも研修してきましたが、そこに加え、「環境」についても改めて見直す機会となりました。職員間で、アイデアを出し合い、「園庭にもっとこんなものがあったら！」「あそこに置いた方が使いやすいのでは？」と見直し、改善してきたことで実際に子ども達の姿が変わっていきました。こうした研究の成果等を発表し本園の魅力を再確認したとともに課題も見えました。講師の先生の言葉で印象的だったのは「環境を整えすぎてしまうと子ども達が自ら遊びを作り出さないのでは？」といった言葉です。この言葉にとっても考えさせられました。

遊園地やアミューズメントパークは何でもそろっていて、充実して、そこに行けば子ども達は興味をかり立てられ、どんどん遊びますね。でも、何でもそろっている中で、子ども達は「次はどれにしよう」と選択はするけれど、自分で遊びを作り出すことはないですね。ちょっとだけ、不足があったり、不便があることで、子ども達は主体的に考え、工夫し、生み出していくのですよね。そう考えたとき、本園の園庭はどうだろう・・・物はありすぎてない？保育者が整えすぎてない？そんな視点も今回いただいた気づきでした。

物があふれ、なんでも手に入る世の中だからこそ大事にしたいことを見直す機会になりました。自分の子育ても「どこかに連れて行かなきゃ」「買ってあげないとかわいそうかな。」そんな思いもありましたが、「子ども達の姿にもっと目を向け、何気ない日常での育ちの場面を大切にしたいな」そんなふう振り返る機会になりました。

次回 ぴよんぴよん広場 12月4日(水) 10:00～11:30

申し込みはこちらから

「ちょっと早いぴよんぴよんクリスマス」を予定しています。

サンタさんもやってくる？かも??



園庭の樹木が鮮やかに色付き、自然が織りなす風景の美しさ、不思議さを感じております。
皆様お元気でいらっしゃいますか？

先日、本園は69回目の創立記念日を迎えました。ホームページのブログにも載せましたので重複するかもしれませんが紹介させていただきますね。

本園は曹洞宗持地院の境内にあります。学校法人若草幼稚園としてスタートする前、明治38年から19年間「放光園」という育児保護施設を運営しておりました。途中、財政難から廃園を余儀なくされましたが、大戦中も寺院を開放し、災害や戦争で被災した子ども達をあずかりその後も青少年の育成に尽力したと聞いております。

幼稚園創立の頃、生きものが大好きな園長は、小さな動物園をつくりました。ハトやうさぎ、亀、チャボ、にわとり、文鳥、インコ、さる、やぎ、馬、あひる、犬、とんび、たか、たくさん飼いました。その動物たちの中には、事故や病気で怪我をし一時的にあずかっていた動物もいました。先生達も一緒にお世話をしました。そのうちに、若草は動物がいる幼稚園として有名になりました。

また、住職でもあった園長は、境内のあちらこちらに仏像(ののさま)や供養塔を建立しました。カメ池周辺やグラウンドにも子どもを守るのの様、あかちゃんをまもるののさま、お母さんを守るののさまがたくさんまつられています。仏像の由来や託された願いについては、知れば知るほど面白く、もしもご興味がありましたら！？いつか皆様にも紹介したいなあと思います。

グラウンドの酒田大佛はお馴染みですが、ホールや各クラスには「広隆寺の弥勒菩薩像」の写真が飾ってあります。「弥勒菩薩」は、おしゃかさまのお弟子さんだったといわれていて、おしゃかさまが亡くなった後(56億7千万年後！？)に現れて、全ての人を救うといわれています。優しさと安心感をあたえ、他人の幸せのために努力し、平等な心を大事にしているとのことで、とても優しいお顔をしています。

実は、先日、本物を拝観する機会があり感動でした。以前、「東大寺の大佛さまのお顔は表情がなく、拝む側の心持ちによって変化する」ときいたことがあります。昔からどのクラスにも弥勒菩薩像の写真が飾られている意味は何か？と考える時、優しい穏やかな笑顔、心持ちで保育にあたりなさい…という職員への教え、願いかもしれないなあと思ったりしています。

以上、若草幼稚園は昔から生き物がいっぱいいて、ののさまもいっぱいいて、いつも子ども達、保護者、先生達を見守ってくれていて、先生達も子ども達もとても元気！な幼稚園です。

それはこれからも続いていくことでしょう。

たくさんの方々のおかげです。檀信徒の方々を始め、地域の方々、保護者、OBの皆さん、そしてびよんぴよんやなかよしうさぎで出会った方々とのご縁も嬉しく、園の理念、伝統を大事に、一方で新たな視点での取り組みも大事に努力していきたいと思っております。仏教は難しい印象ですが、命を大事にすること、思いやりなど人としてあたりまえで大切なことを(抽象的で目に見えにくく曖昧さゆえに悩む場面が多いのですが)身近なこととして考えあう機会になっていると思っております。

早いもので、今年も残りわずかとなりました。終わりよければすべて良し！ここまできたら全て「棚に上げて」！？いっぱい笑って過ごしましょう～ またお会いしましょう！